

きりとくだより



群馬県立桐生特別支援学校
学校通信 第9号 R6.1.9

3学期も宜しくお願い致します

能登半島地震、航空機事故と大きなニュースから始まった2024年。子ども達だけでなく大人も、驚きと不安を隠せなかったことと思います。家族の安否を心配し、避難生活をされている方が多くいることに心が痛みます。被災地の子ども達はどのような形で生活しているのでしょうか。こうした災害時に特別支援学校はどんな対応が必要なのか考えながら、今日の始業式を迎えました。本校からも励ましの気持ちを伝えたいですね。

さて、3学期は本校そして市内特別支援学級にとって一大行事となる、「学習発表会」があります。今年も子ども達の勇姿が見られることでしょう。中学部3年生は、その後、高等部入試に臨みます。学習発表会に向けての練習と入試に向けての学習が重なります。ここは踏ん張りどころですね。応援しています。

(校長 近藤 照久)

校内研修について

本校では、よりよい授業作り・教育活動を行うことを目指して、先生方が日々校内研修に取り組んでいます。

今年度のテーマは「子どもが自ら次の目標に向かいたくなる授業を目指して～太田ステージ評価を活用した指導計画の作成を通して～」です。昨年度に引き続き、太田ステージ評価を活用し、児童生徒一人一人の実態を客観的に把握するとともに、実態把握に基づいた指導計画の作成、授業実践、授業の振り返り等を行い、授業改善をはかっています。

そのほか、県教育委員会の取組である「強度行動障害に関する共同研究」に研究協力校として参加。県が主催する講演会を聴講したり、県の指導主事、のぞみの園の職員らと連携して事例研究に取り組んだりしています。

さらに、群馬県総合教育センターが主催する「特別研修」に教諭1名を派遣し、公開授業を開催して自立活動等の研究を進めるとともに、成果を学校全体で共有できるように進めています。

3学期は、1年の研修を振り返り、研修のまとめを行う予定です。児童生徒の成長につながることを目指して、これからも研修を重ね、日々の授業に生かしていきたいと考えています。

降雪時の対応について



この冬はあたたかい日が多く続いておりますが、南側の低気圧が発達して大規模な里雪(ドカ雪)がくる可能性もあります。万が一、学校の授業時間等に変更がある場合は、「ぐんまスクールネットメール」にて御家庭に連絡いたしますので、ご承知おきください。



感染防止対策



インフルエンザやコロナなど、感染症が引き続き流行しております。御家庭におきましても、引き続き、感染防止対策に努めていただきますようお願いいたします。児童生徒に、のどの痛み、咳、鼻水、熱や下痢、嘔吐等の風邪症状がある場合は、無理をせず、自宅で様子を見ていただきますようお願いいたします。

なお、風邪を引きにくい強い体を作るためにも、食事、睡眠、運動等バランスのとれた生活習慣を心がけていただきますよう、引き続きよろしくようお願いいたします。



※保護者の皆様には本校の教育活動についてのアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。皆様の御意見をもとに、よりよい桐特を目指していきたいと思っております。結果は後日、報告させていただきます。